

令和2年度第1回  
宝塚市産業活力創造会議

日時：令和2年8月27日（木）10時00分～  
場所：宝塚市役所 2-3会議室

宝塚市 商工勤労課

# 宝塚市産業活力創造会議委員名簿

(◎会長)

構成	名 前(敬称略)	所 属	任 期
知識経験者	◎ <sup>ハマダ ケイゾウ</sup> 濱田 恵三	地域ブランド戦略研究所	H30.11.5～R3.4.30
市長が適当と認める者	<sup>カミオ トモハル</sup> 神尾 友治	株式会社ファミリーエージェンシー	H30.11.5～R3.4.30
市長が適当と認める者	<sup>イマザト アリトシ</sup> 今里 有利	株式会社今里食品	H30.11.5～R3.4.30
市長が適当と認める者	<sup>ヤノ ヒロオミ</sup> 矢野 浩臣	宝塚高原ゴルフ株式会社	H30.11.5～R3.4.30
公募による市民	<sup>ナカムラ アズサ</sup> 中村 梓	公募委員	H30.11.5～R3.4.30
	<sup>ユアサ タダシ</sup> 湯浅 忠	公募委員	H30.11.5～R3.4.30

## 次第

- 1 委員の任期延長について
- 2 宝塚市産業振興ビジョンについて
- 3 宝塚市商工業振興計画について
- 4 今後のスケジュールについて

## 次第2 宝塚市産業振興ビジョンについて

### (1) 主な変更点について

番号	該当ページ	行・箇所	種別	変更の趣旨
1	3	1行目以降	追加	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「新しい生活様式」の実践が求められる中、産業においても非対面やオンライン等への対応が求められることから <u>(5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う新しい生活様式の導入の項目を追加</u>
2	7	4行目以降	追加	3. 農業の現状と課題 <u>ウィズコロナ時代における、農業経営の継続のため取り組みや、農産物の販売方法、観光農業における感染リスクの軽減対策等が課題である旨を追加</u>
3	9	全体	修正・追加	5. 観光の現状と課題 コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、 <u>インバウンドを推進する旨を削除し、滞在時間の延長や観光のコンテンツ創出を目指す旨記載の修正・追加</u>
4	10	(3) 地域内経済循環の促進(カネ) (5) 事業環境の整備(空間)	追加	6. 市内産業に共通する課題 (3)、(5) 「3密」回避などの、感染症拡大防止やウィズコロナ時代への適合観点から、 <u>非対面・非接触による商品等の提供が必要となる旨追加</u>
5	15	中段・デザイン思考の役割と効果	追加	ビジョンにおいて、「デザイン思考」は重要な要素の一つであることから、 <u>注釈ではなくコラムとして掲載し、詳細に説明することとした</u>
6	16	1. 将来目標の説明箇所 2. 創造都市・宝塚が実現されたときの、宝塚市産業の姿	追加	<u>新型コロナウイルス感染症拡大が与えた影響により事業者が疲弊している旨および、感染症拡大防止という「安心感」が今後新たな付加価値になると考えられることから、柔軟に対応する事業者が増えることで、安心感のある新たな付加価値が創出されていく旨追加</u>

### (2) 本編(案)・概要版(案)について

別冊のとおり

## 次第3 宝塚市商工業振興計画について

### (1) 主な変更点について

番号	該当ページ	行・箇所	種別	変更の趣旨
1	-	-	修正	<u>計画期間を5年から10年に変更</u> 総合計画、産業振興ビジョンと合致させる。「適宜必要な見直しを行います。」と文言追加し、計画期間中も時代の流れに応じた変更が可能とします。
2	5	(3) 地域内経済循環の促進 (カネ) (5) 事業環境の整備 (空間)	追加	産業振興ビジョンと同様 分野共通の課題③、⑤ 「3密」回避などの、感染症拡大防止やウィズコロナ時代への適合観点から、 <u>非対面・非接触による商品等の提供が必要となる旨追加</u>
3	7	将来像 基本方向1～3	修正	将来像の箇所に「"つくる"をいっしょに。」を追記 基本方向1 新たな事業の創出 あらたな担い手、あらたな事業を 基本方向2 市内のにぎわい創出 まちの活性化を、みんなの手で 基本方向3 宝塚ブランドをいかした魅力創出 みんなが誇る、宝塚ブランドを
4	7	基本方向1～3 説明文	追加	ウィズコロナ時代では、「安心感」が新たな付加価値となる可能性があることから、 <u>安心感などの付加価値を生み出すことを支援する旨、安心して購買できる仕組みを提供する旨追加</u>
5	8	施策の方針2-1 個店の魅力向上	修正	個店の魅力向上だけにとどまらず、そこからエリアの魅力向上につながる必要があると考えられるため、 <u>個店から始まるエリアの魅力向上に修正</u>
6	9以降	主な取組施策	追加	取組概要・取組主体をお示しいたします。
7	11	・「公共空間・施設の民間活用を促進する仕組みづくり」を施策の方針2へ移動	修正	施策の方針2-1を「個店から始まるエリアの魅力向上」に変更したことから、個店の魅力向上→対外発信→魅力的な個店の立地誘導→集まった魅力的な店舗がコミュニティ化し、公共空間等を使いエリアの魅力向上を図る。という流れにするため、 <u>方針2へ移動した</u>
8	12	・「新業態に進出する事業者への支援」を追加	追加	新業態開拓等推進事業補助金の継続に向けた意思表示と、新型コロナウイルス感染症拡大によりこれまでのビジネスとは異なった手法が必要でその手法を創出するには創造性を発揮することが重要であることから、この方針に <u>追加</u>
9	13	1-3-2「学校教育と連携したキャリア教育の推進」	修正	ここの趣旨は、就労体験を実施するよりは創造性豊かな担い手を育成していくことであることから、これからの時代に必須のスキルである「 <u>デザイン思考やICTを学ぶ機会の提供を推進</u> 」する旨に <u>修正</u>
10	15	2-1-1リノベーションや美装化等による個店魅力化の支援	追加	<u>デザイン経営による個店魅力化の支援に変更</u> 単なるリノベーションではなくデザインの視点を活かしたりノベーションによる個店の魅力化・高付加価値化を支援していくことから
11	16	2-1-3宝塚のブランド力を活かした魅力ある新たな個店の立地誘導	修正	<u>魅力ある個店の立地誘導に向けた環境づくりに変更</u> 立地誘導は実施するとともに、受け入れる体制を整えることも重要であることから、既に合意頂いている目的と取組概要に合わせた <u>タイトルに変更</u>
12	21	3-2-2宝塚の食文化の発信	修正	<u>地産地消をはじめ宝塚の"農"文化の普及に変更</u> 食を発信していくのみならず、給食等農産物の地産地消や学校でのゲストティーチャー授業などを通じ、農文化の普及につなげていきたいことから、 <u>タイトル及び目的と取組概要を変更</u>
13	23	(3) 成果指標と目標値	新規	まだお示ししていなかった、KPIについてお示ししております。

### (2) 本編 (案)・概要版 (案) について

別冊のとおり

## 次第4 今後のスケジュールについて

### 宝塚市産業活力創造会議 計画策定スケジュール(案)

年度	月	項目	備考(実施内容等)
2年度	8月	第1回産業活力創造会議	「産業振興ビジョン」本編、概要版について、コロナの影響に伴い追加した点、「商工業振興計画」本編について、前回の審議会および直近の庁内検討会を経て修正した点、コロナの影響を追加した点、概要版について、創造会議へ諮り、意見聴取いたします。
	11月上旬	第2回産業活力創造会議	「産業振興ビジョン」及び「商工業振興計画」について本編と概要版を作成し、市民の意見を募集するパブリックコメントを実施する前に、その内容について創造会議にお諮りします。
	11月～12月	情報意見交換会、都市経営会議、議会説明	市の内部手続きです。
	1月	パブリックコメント実施	市が策定する計画等について、市民から意見を募集する手続きです。 月初から月末まで1か月間実施します。
	2月中旬	第3回産業活力創造会議	パブコメにおいて市民から出た意見に対する回答案について、創造会議にお諮りし、可能であれば市長へ答申します。
	2月下旬	都市経営会議	第3回で答申を受けた場合に会議で報告 (パブコメに対する回答案及び答申を受けた旨)
	3月	産業振興ビジョン、商工業振興計画完成	